

1 乳用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成22年2月1日現在（以下「平成22年」という。）の全国の乳用牛の飼養戸数は2万1,900戸で、前年に比べて1,200戸（5.2%）減少した。

飼養頭数は148万4,000頭で、前年に比べて1万6,000頭（1.1%）減少した。

この結果、1戸当たりの平均飼養頭数は、前年より2.9頭増加して67.8頭となった。

また、乳用牛の状態別（経産牛及び未經産牛）飼養頭数をみると、経産牛は96万3,800頭で、前年に比べて2万1,400頭（2.2%）減少したが、未經産牛は52万500頭で、前年に比べて5,700頭（1.1%）増加した。

図1 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

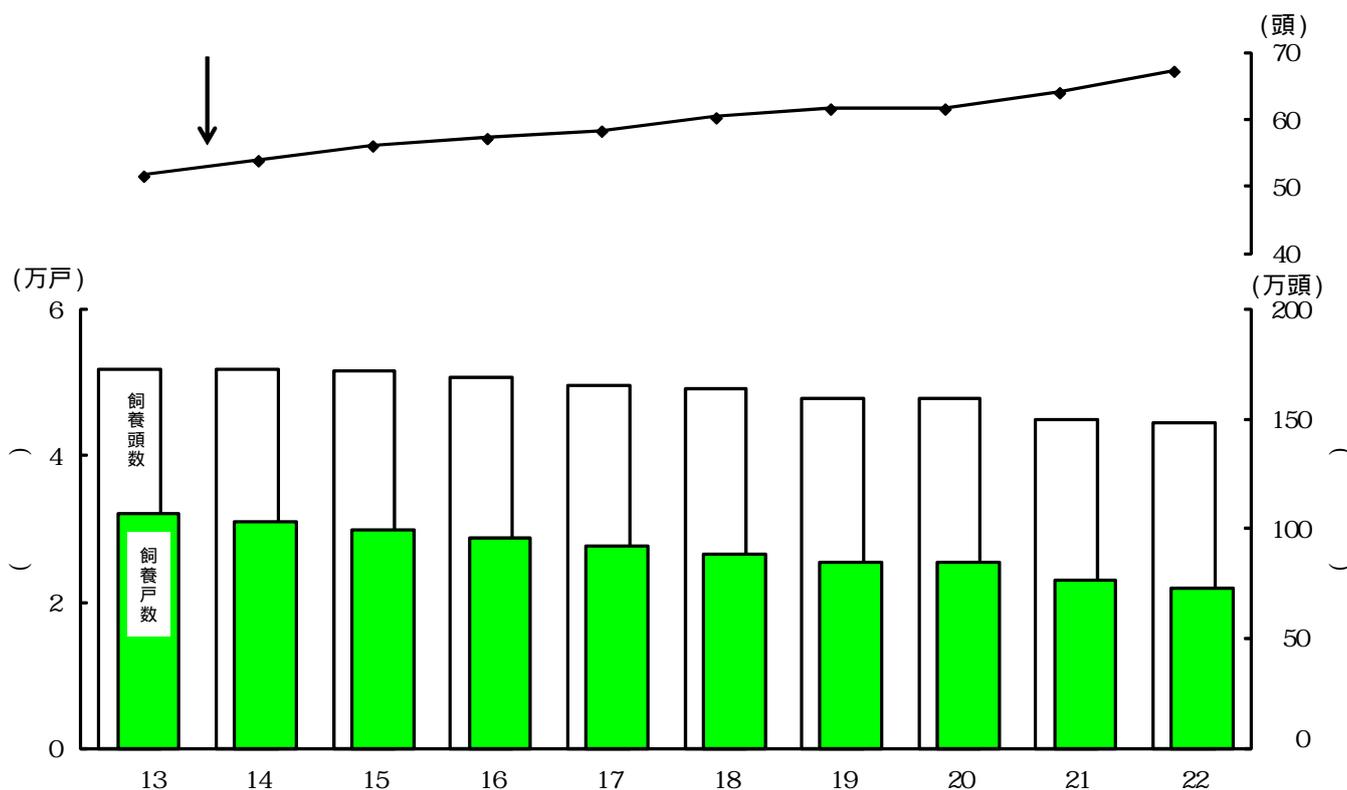


表1 乳用牛の飼養戸数・状態別飼養頭数

区分		飼養戸数	飼養頭数					1戸当たり飼養頭数
			計	経産牛			未經産牛	
				小計	搾乳牛	乾乳牛		
戸数・頭数	平成20年	24,400	1,533.0	998.2	861.5	136.7	534.5	62.8
	21	23,100	1,500.0	985.2	848.0	137.2	514.8	64.9
	22	21,900	1,484.0	963.8	829.7	134.1	520.5	67.8
対前年比 (%)	平成21年	94.7	97.8	98.7	98.4	100.4	96.3	-
	22	94.8	98.9	97.8	97.8	97.7	101.1	-
構成 (%)	平成20年	-	100.0	65.1	56.2	8.9	34.9	-
	21	-	100.0	65.7	56.5	9.1	34.3	-
	22	-	100.0	64.9	55.9	9.0	35.1	-

(2) 成畜（満2歳以上の牛）頭数規模別飼養戸数・頭数

乳用牛の飼養戸数・頭数を成畜（満2歳以上の牛）頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下、飼養頭数規模別飼養戸数・頭数において同じ。）にみると、飼養戸数は前年に比べて「100頭以上」の階層で同数だったが、その他の階層で減少した。

また、飼養頭数は、前年に比べて「1～19頭」の階層で1.0%、「100頭以上」の階層で4.9%それぞれ増加したが、その他の階層で減少した。

なお、「100頭以上」及び「50～79頭」の両階層を合わせると、飼養頭数の半数を超える。

図2 乳用牛の成畜頭数規模別飼養戸数・頭数の割合

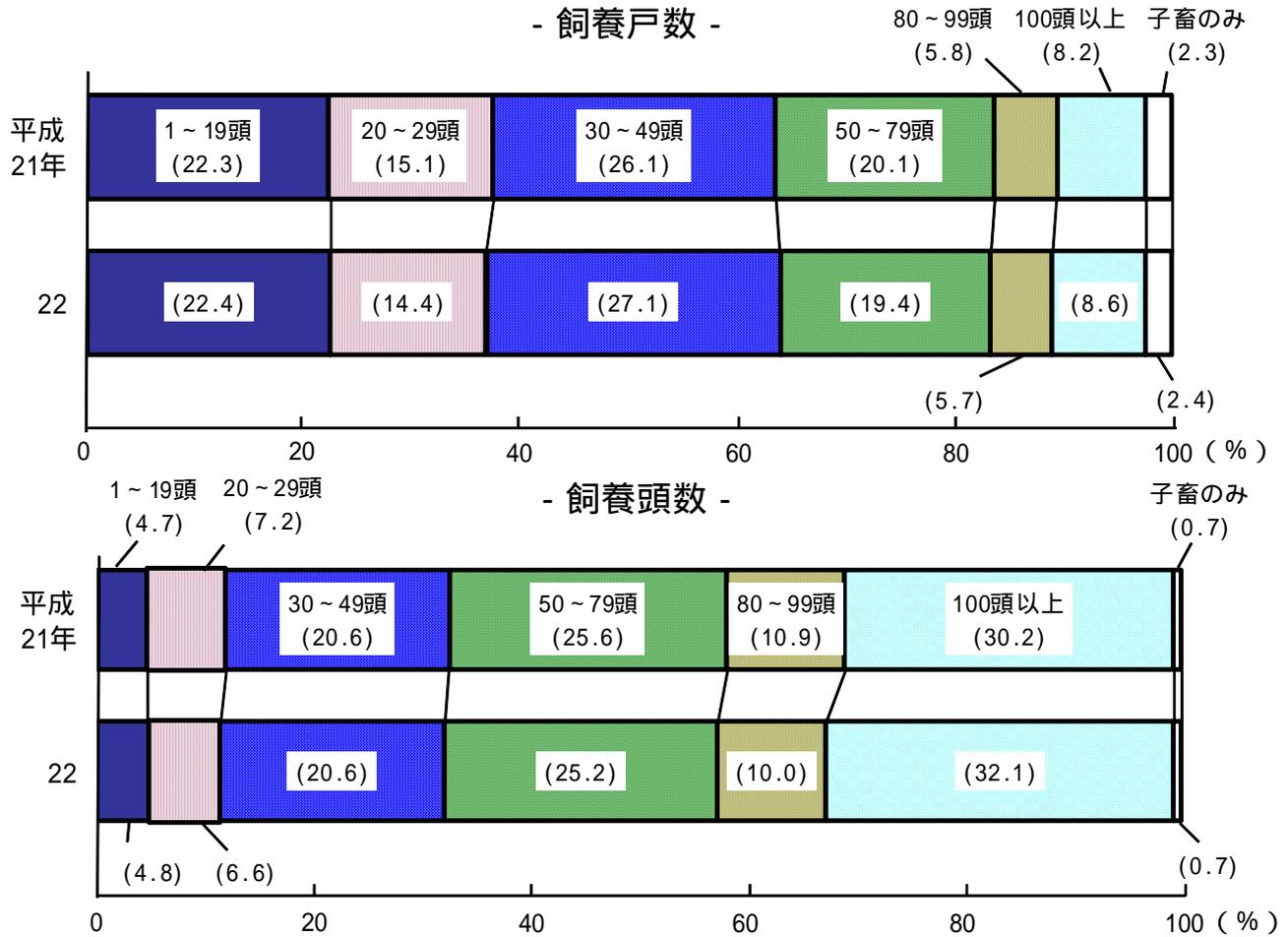


表2 乳用牛の成畜頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	成畜頭数規模									子畜のみ
			小計	1～19頭	20～29	30～49	50～79	80～99	100頭以上	300頭以上		
飼養戸数	平成21年	戸	22,800	22,300	5,090	3,450	5,960	4,580	1,330	1,860	173	531
	22	"	21,700	21,200	4,870	3,120	5,880	4,210	1,240	1,860	158	517
	対前年比	%	95.2	95.1	95.7	90.4	98.7	91.9	93.2	100.0	91.3	97.4
飼養頭数	平成21年	千頭	1,477.0	1,467.0	70.0	106.9	304.2	378.4	160.6	446.6	106.2	10.2
	22	"	1,460.0	1,450.0	70.7	95.9	300.2	368.1	146.4	468.5	109.2	9.8
	対前年比	%	98.8	98.8	101.0	89.7	98.7	97.3	91.2	104.9	102.8	96.1

(3) 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

乳用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間（平成21年2月～平成22年1月。以下同じ。）に飼料作物を作付けした戸数は1万9,100戸で、乳用牛飼養者の88.0%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道、東北及び九州において乳用牛飼養者の9割以上が飼料作物を作付けしている。

図3 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

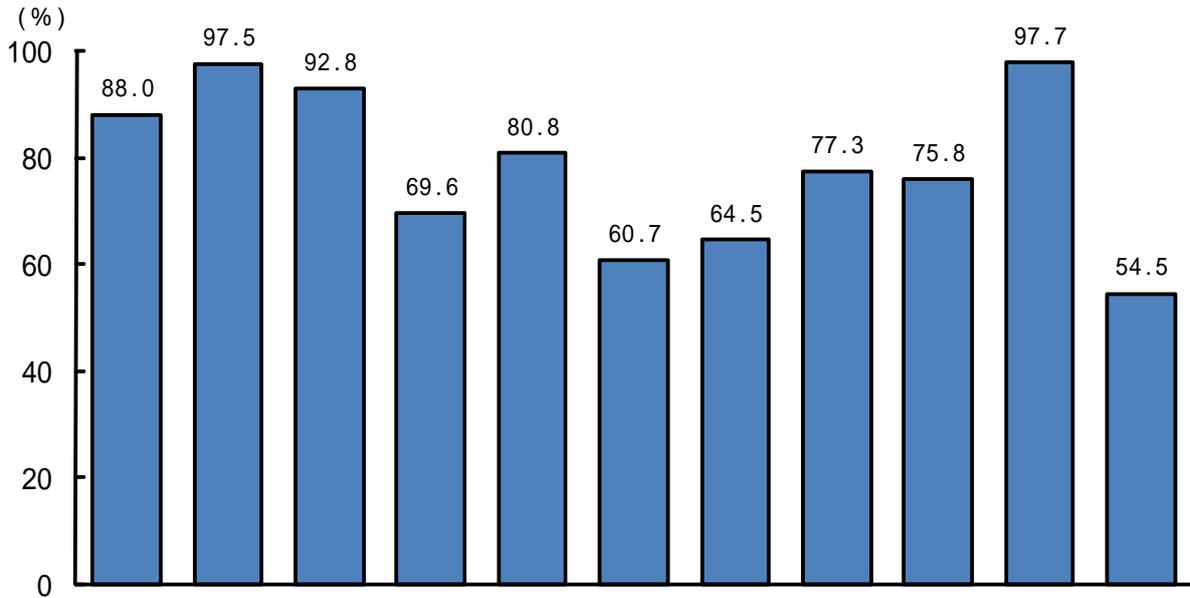


表3 乳用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

区分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全国	21,700	19,100	88.0	508,800	483,800
北海道	7,650	7,460	97.5	425,100	411,300
東北	3,490	3,240	92.8	36,000	30,100
北陸	461	321	69.6	2,320	1,730
関東・東山	4,480	3,620	80.8	20,500	18,100
東海	982	596	60.7	3,110	2,870
近畿	794	512	64.5	1,180	870
中国	1,040	804	77.3	4,820	4,140
四国	559	424	75.8	1,280	1,130
九州	2,150	2,100	97.7	14,300	13,400
沖縄	88	48	54.5	180	170

(4) 乳用牛の放牧状況

乳用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間に乳用牛の放牧を行った戸数は6,630戸で、乳用牛飼養者の30.6%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では66.1%の飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図4 乳用牛飼養者の放牧実施戸数割合

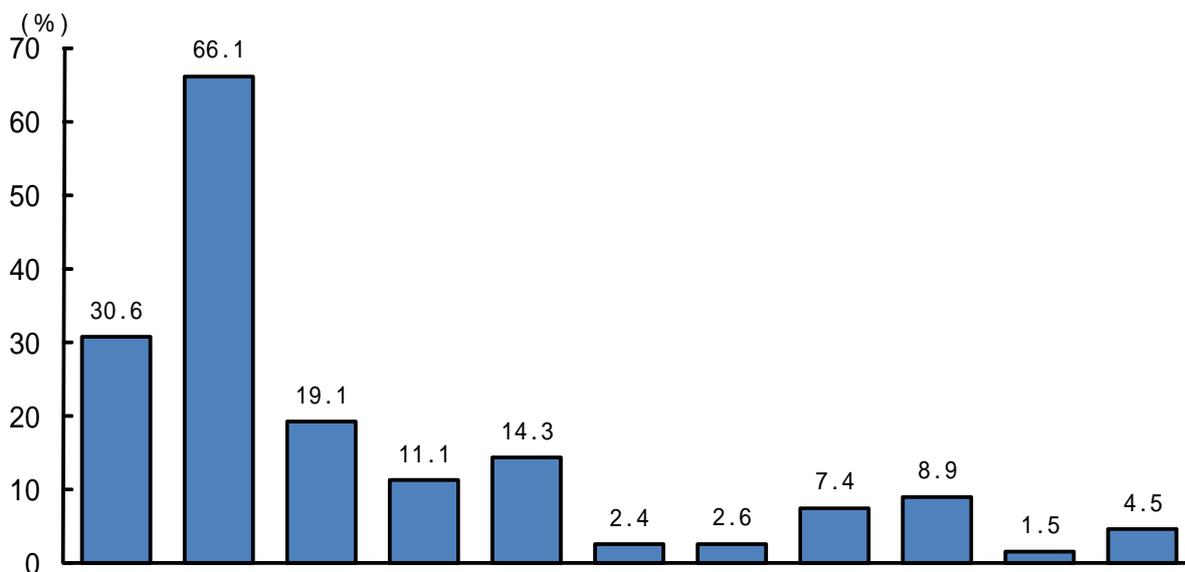


表4 乳用牛の放牧状況

区 分	飼養戸数	放牧をして いる戸数	放牧実施 戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全 国	21,700	6,630	30.6	290,600
北 海 道	7,650	5,060	66.1	268,000
東 北	3,490	668	19.1	8,020
北 陸	461	51	11.1	430
関 東・東 山	4,480	641	14.3	9,060
東 海	982	24	2.4	800
近 畿	794	21	2.6	300
中 国	1,040	77	7.4	1,720
四 国	559	50	8.9	1,000
九 州	2,150	32	1.5	1,190
沖 縄	88	4	4.5	80

2 肉用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成22年の全国の肉用牛の飼養戸数は7万4,400戸で、前年に比べて2,900戸（3.8%）減少した。

飼養頭数は289万2,000頭で、前年に比べて3万1,000頭（1.1%）減少した。

この結果、1戸当たりの平均飼養頭数は、前年より1.1頭増加して38.9頭となった。

また、肉用牛の種類別飼養頭数をみると、肉用種は192万4,000頭で前年に比べて3万5,000頭（1.9%）増加し、乳用種は96万8,300頭で前年に比べて6万4,700頭（6.3%）減少した。

なお、乳用種のうち、ホルスタイン種他は42万1,000頭で、前年に比べて9,700頭（2.4%）増加したが、交雑種（F1牛、F1クロス牛）は54万7,300頭で、前年に比べて7万4,800頭（12.0%）減少した。

図5 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移

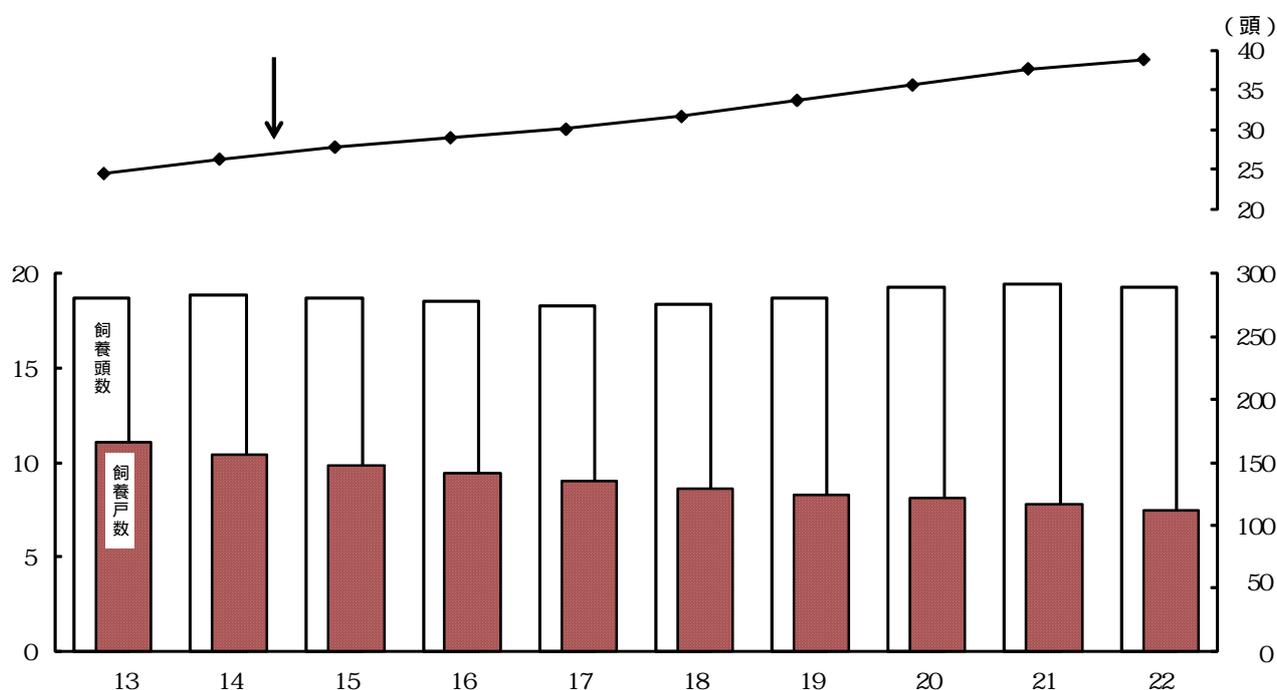


表5 肉用牛の飼養戸数・種類別頭数

区分		飼養戸数	飼養頭数					1戸当たり飼養頭数
			計	肉用種	乳用種			
戸	千頭	千頭			小計	ホルスタイン種他	交雑種	千頭
戸数・頭数	平成20年	80,400	2,890.0	1,823.0	1,067.0	431.6	635.7	35.9
	21	77,300	2,923.0	1,889.0	1,033.0	411.3	622.1	37.8
	22	74,400	2,892.0	1,924.0	968.3	421.0	547.3	38.9
対前年比 (%)	平成21年	96.1	101.1	103.6	96.8	95.3	97.9	-
	22	96.2	98.9	101.9	93.7	102.4	88.0	-
構成 (%)	平成20年	-	100.0	63.1	36.9	14.9	22.0	-
	21	-	100.0	64.6	35.3	14.1	21.3	-
	22	-	100.0	66.5	33.5	14.6	18.9	-

(2) 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

ア 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

総飼養頭数規模別にみると、飼養戸数は前年に比べて「5～9頭」の階層で1.1%、「200頭以上」の階層で5.0%それぞれ増加したが、その他の階層で減少した。

また、飼養頭数は前年に比べて「200頭以上」の階層で1.5%増加したが、その他の階層で減少した。

なお、「200頭以上」の階層で飼養頭数の半数を占めている。

図6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数割合

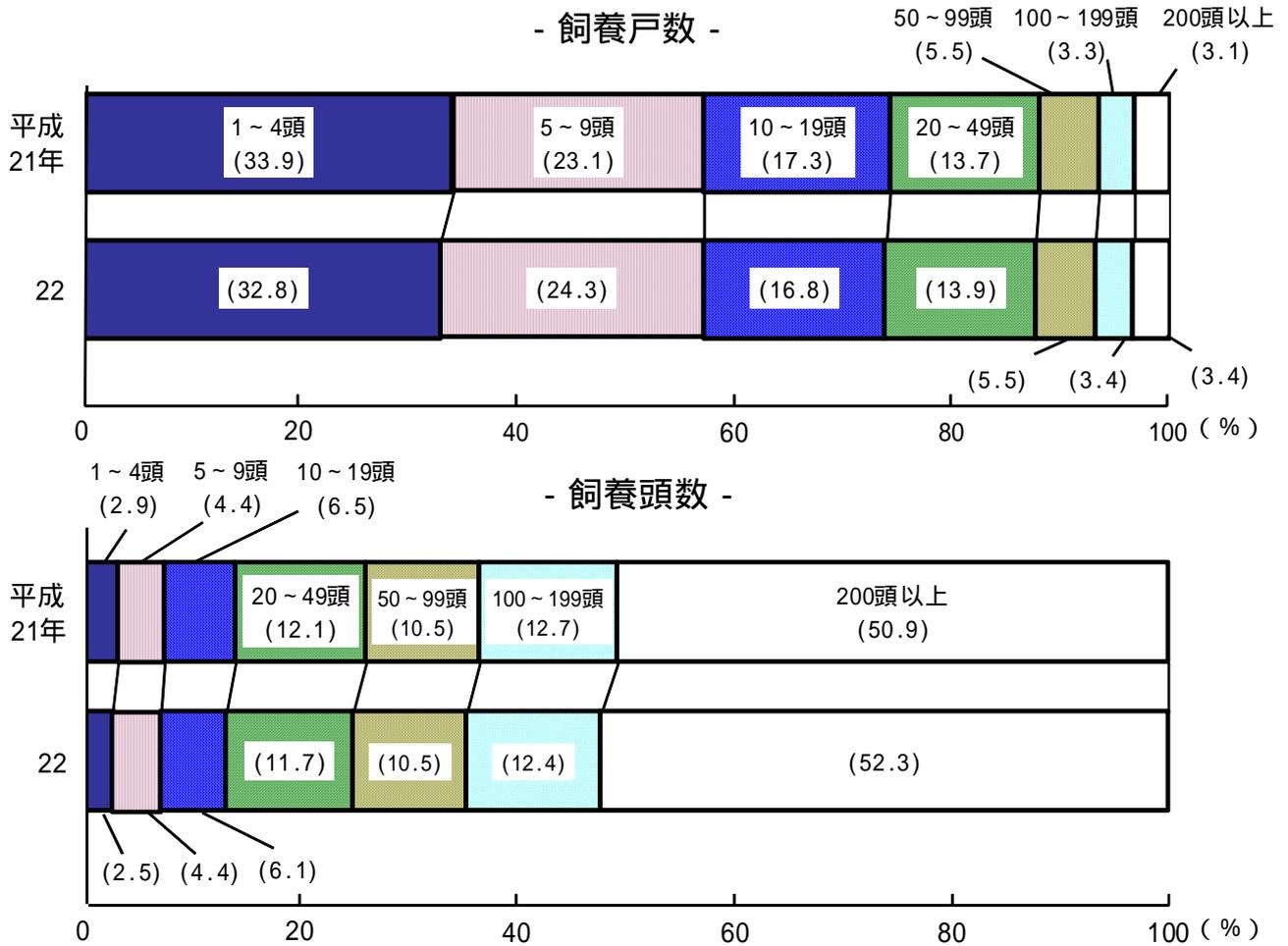


表6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
飼養戸数	平成21年	戸	76,900	26,100	17,800	13,300	10,500	4,200	2,570	2,390	774
	22	戸	74,000	24,300	18,000	12,400	10,300	4,050	2,480	2,510	760
	対前年比	%	96.2	93.1	101.1	93.2	98.1	96.4	96.5	105.0	98.2
飼養頭数	平成21年	千頭	2,891.0	82.4	127.8	188.2	350.0	302.4	367.8	1,472.0	972.5
	22	千頭	2,858.0	72.0	127.1	173.6	335.5	301.4	355.1	1,494.0	961.8
	対前年比	%	98.9	87.4	99.5	92.2	95.9	99.7	96.5	101.5	98.9

イ 肉用種の目的別飼養頭数別飼養戸数

(ア) 子取り用めす牛

肉用種の子取り用めす牛を飼養している戸数は6万3,900戸で、肉用牛飼養戸数の86.4%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて全ての階層で減少した。

表7 子取り用めす牛の飼養頭数規模別飼養戸数

区分	肉用牛の飼養戸数	子取り用めす牛飼養頭数規模								子取り用めす牛なし
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100頭以上		
戸数	平成21年	76,900	66,600	33,700	16,200	9,240	5,860	1,210	450	10,300
	22	74,000	63,900	31,800	15,800	9,120	5,640	1,190	439	10,100
対前年比(%)		96.2	95.9	94.4	97.5	98.7	96.2	98.3	97.6	98.1
構成比(%)	平成21年	100.0	86.6	43.8	21.1	12.0	7.6	1.6	0.6	13.4
	22	100.0	86.4	43.0	21.4	12.3	7.6	1.6	0.6	13.6

(イ) 肥育用牛

肉用種の肥育用牛を飼養している戸数は1万1,700戸で、肉用牛飼養戸数の15.8%となっている。

飼養頭数規模別にみると、「10～19頭」、「50～99頭」、「100～199頭」及び「200頭以上」の階層は前年に比べて増加し、その他の階層では減少した。

表8 肥育用牛の飼養頭数規模別飼養戸数

区分	肉用牛の飼養戸数	肥育用牛飼養頭数規模									肥育用牛なし	
		計	1～9頭	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上		
戸数	平成21年	76,900	11,700	4,780	1,500	862	1,130	1,450	1,080	942	228	65,100
	22	74,000	11,700	4,510	1,640	842	991	1,540	1,170	1,010	249	62,300
対前年比(%)		96.2	100.0	94.4	109.3	97.7	87.7	106.2	108.3	107.2	109.2	95.7
構成比(%)	平成21年	100.0	15.2	6.2	2.0	1.1	1.5	1.9	1.4	1.2	0.3	84.7
	22	100.0	15.8	6.1	2.2	1.1	1.3	2.1	1.6	1.4	0.3	84.2

ウ 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

肉用の乳用種(乳廃牛は除く。)を飼養している戸数は6,370戸で、肉用牛飼養戸数の8.6%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて全ての階層で減少した。

表9 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

区分	肉用牛の飼養戸数	乳用種飼養頭数規模								乳用種なし	
		計	1～4頭	5～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上		
戸数	平成21年	76,900	7,380	2,330	1,400	958	703	742	1,250	421	69,500
	22	74,000	6,370	1,830	1,200	824	627	721	1,170	403	67,700
対前年比(%)		96.2	86.3	78.5	85.7	86.0	89.2	97.2	93.6	95.7	97.4
構成比(%)	平成21年	100.0	9.6	3.0	1.8	1.2	0.9	1.0	1.6	0.5	90.4
	22	100.0	8.6	2.5	1.6	1.1	0.8	1.0	1.6	0.5	91.5

(3) 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付面積の状況

肉用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間に飼料作物を作付けした戸数は6万1,100戸で肉用牛飼養者の82.6%となっている。

これを全国農業地域別にみると、九州で肉用牛飼養者の約9割が飼料作物を作付けしている。

図7 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合

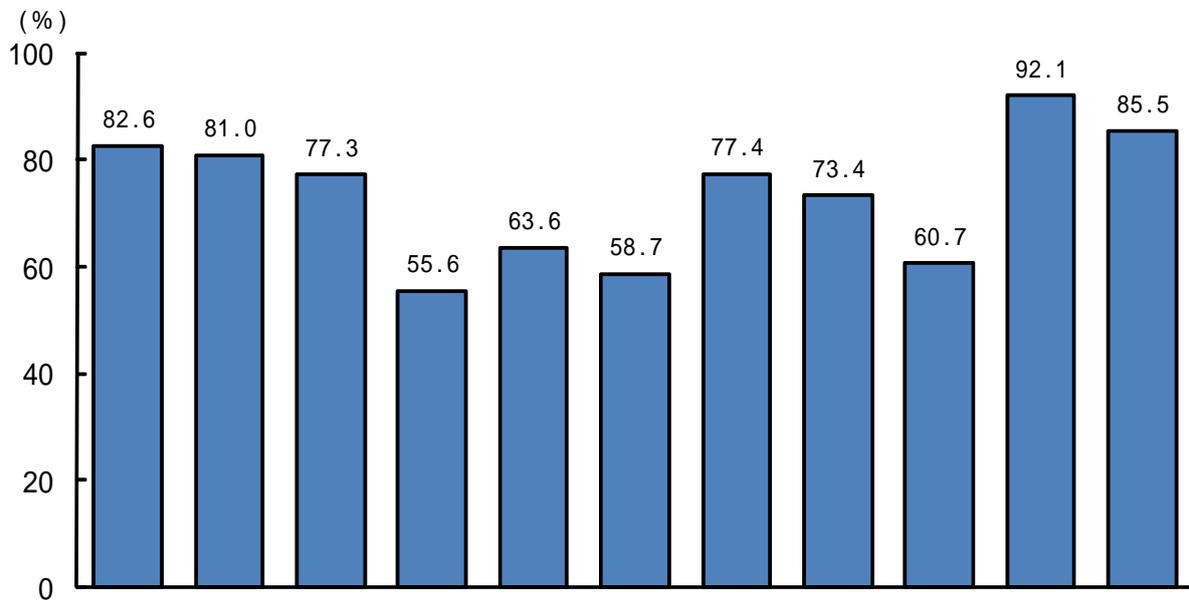


表10 肉用牛飼養者の経営耕地面積・飼料作物作付実面積

区 分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全 国	74,000	61,100	82.6	267,300	192,800
北 海 道	3,000	2,430	81.0	90,900	80,500
東 北	21,100	16,300	77.3	75,600	40,600
北 陸	511	284	55.6	1,470	670
関 東・東 山	4,420	2,810	63.6	12,400	7,620
東 海	1,560	916	58.7	2,180	1,300
近 畿	2,260	1,750	77.4	2,490	1,300
中 国	4,210	3,090	73.4	7,600	3,510
四 国	1,090	662	60.7	1,230	650
九 州	32,800	30,200	92.1	64,800	50,900
沖 縄	3,100	2,650	85.5	8,570	5,810

(4) 肉用牛の放牧状況

肉用牛飼養者（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）のうち、調査期日前の1年間に肉用牛の放牧を行った戸数は9,420戸で、肉用牛飼養者の12.7%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では37.0%の飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図8 肉用牛飼養者の放牧実施戸数割合

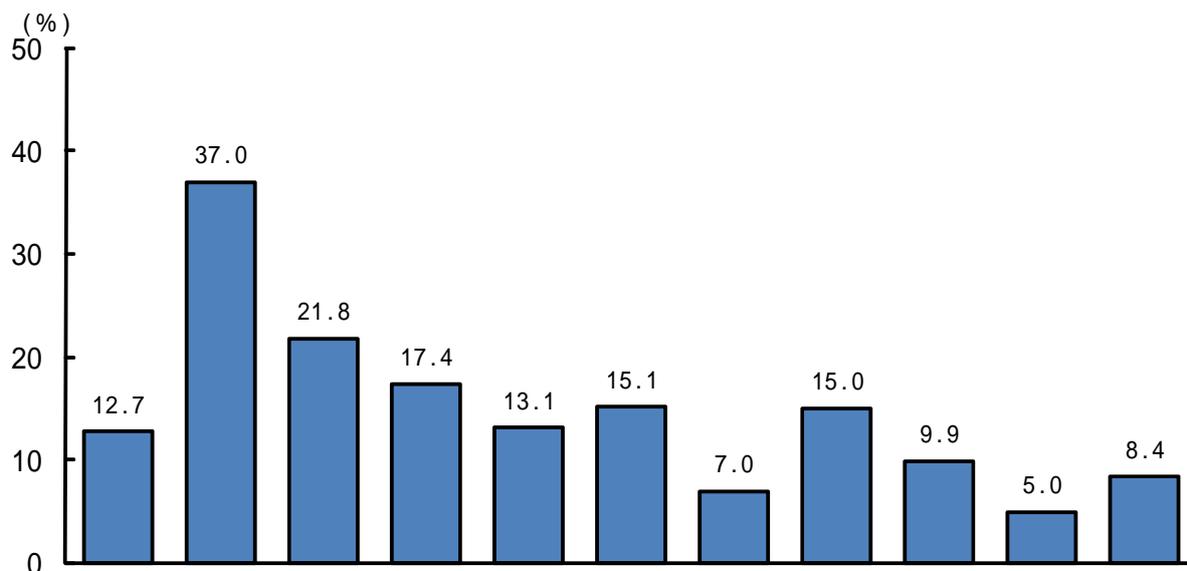


表11 肉用牛の放牧状況

区分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全国	74,000	9,420	12.7	113,400
北海道	3,000	1,110	37.0	36,900
東北	21,100	4,600	21.8	29,500
北陸	511	89	17.4	480
関東・東山	4,420	577	13.1	5,530
東海	1,560	235	15.1	2,580
近畿	2,260	158	7.0	1,870
中国	4,210	631	15.0	6,180
四国	1,090	108	9.9	1,200
九州	32,800	1,650	5.0	20,700
沖縄	3,100	260	8.4	8,450

3 鶏ひなふ化羽数

(1) ふ化羽数及び出荷羽数

ア 採卵用めすひな

平成21年（1月～12月）の全国の採卵用めすひなのふ化羽数は1億685万5千羽で、前年に比べて0.4%減少し、出荷羽数は1億245万4千羽で、前年並みであった。

イ プロイラー用ひな

平成21年（1月～12月）の全国のプロイラー用ひなのふ化羽数は6億9,836万9千羽、出荷羽数は6億7,983万2千羽で、前年に比べてそれぞれ0.9%、0.8%減少した。

図9 鶏ひなの出荷羽数の推移

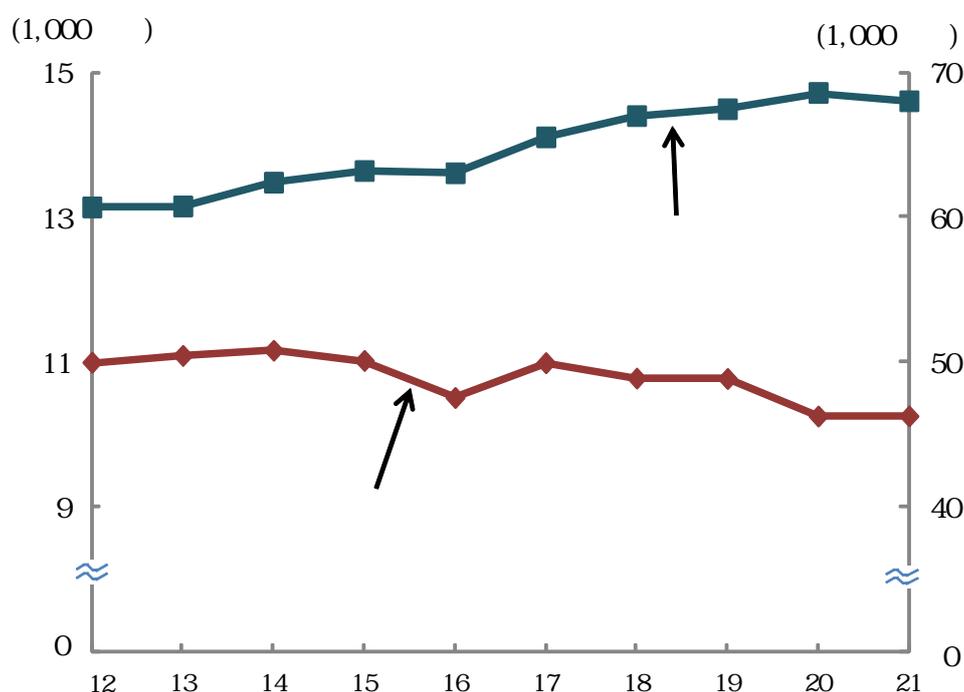


表12 鶏ひなのふ化羽数及び出荷羽数

単位：千羽

区分		採卵用めすひな		プロイラー用ひな	
		ふ化羽数	出荷羽数	ふ化羽数	出荷羽数
羽数	平成20年	107,241	102,445	704,575	685,573
	21	106,855	102,454	698,369	679,832
対前年比 (%)	平成20年	95.2	95.2	101.9	101.7
	21	99.6	100.0	99.1	99.2

(2) 全国農業地域別え付け羽数

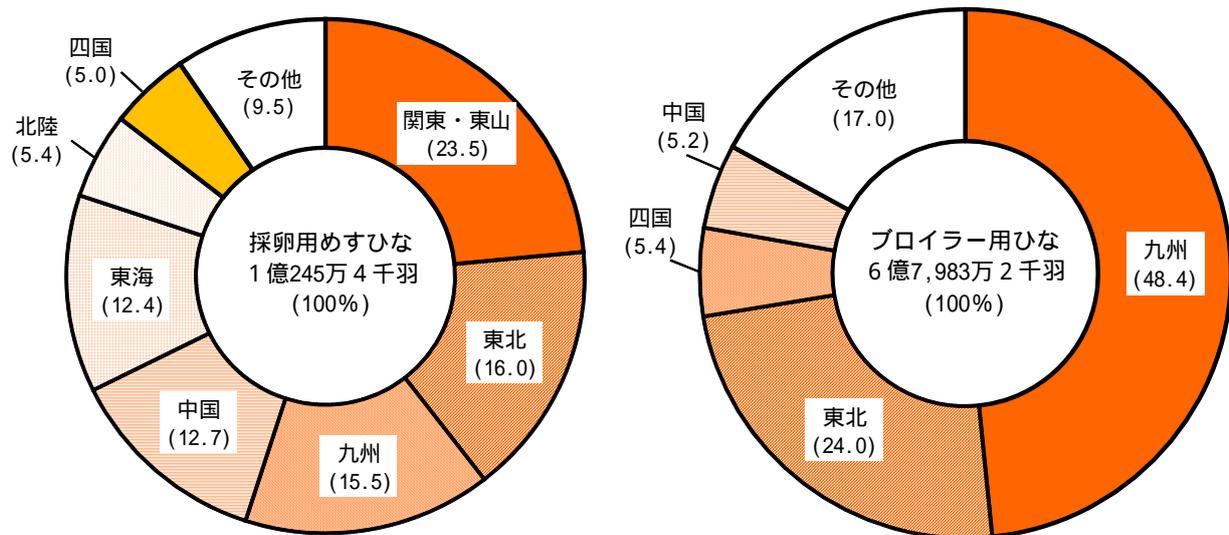
ア 採卵用めすひな

全国農業地域別にみると、東北、北陸、近畿、中国、九州及び沖縄では増加したが、それ以外の地域では減少した。

イ プロイラー用ひな

全国農業地域別にみると、関東・東山、四国、九州では増加したが、それ以外の地域では減少した。

図10 鶏ひなの全国農業地域別え付け羽数割合



注：え付け羽数の全国割合が5.0%未満の地域については「その他」とした。

表13 鶏ひなの全国農業地域別え付け羽数

区分		計	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
採卵用めすひな	羽数	平成20年	102,445	4,673	15,486	5,163	24,462	13,577	4,476	12,888	5,480	15,416	824
		21	102,454	4,117	16,346	5,548	24,054	12,706	4,920	12,965	5,087	15,869	842
	対前年比 (%)	平成20年	95.2	92.0	99.5	94.1	92.4	95.7	98.5	95.0	95.8	95.4	97.3
		21	100.0	88.1	105.6	107.5	98.3	93.6	109.9	100.6	92.8	102.9	102.2
プロイラー用ひな	構成比 (%)	平成20年	100.0	4.6	15.1	5.0	23.9	13.3	4.4	12.6	5.3	15.0	0.8
		21	100.0	4.0	16.0	5.4	23.5	12.4	4.8	12.7	5.0	15.5	0.8
	羽数	平成20年	685,573	32,477	163,753	6,527	31,671	19,941	23,747	39,730	36,518	327,636	3,573
		21	679,832	32,437	163,379	6,179	31,986	19,292	22,499	35,287	36,542	328,921	3,310
プロイラー用ひな	対前年比 (%)	平成20年	101.7	105.1	100.9	104.6	96.5	101.8	102.2	99.6	101.7	102.3	106.6
		21	99.2	99.9	99.8	94.7	101.0	96.7	94.7	88.8	100.1	100.4	92.6
	構成比 (%)	平成20年	100.0	4.7	23.9	1.0	4.6	2.9	3.5	5.8	5.3	47.8	0.5
		21	100.0	4.8	24.0	0.9	4.7	2.8	3.3	5.2	5.4	48.4	0.5

注：え付け羽数とは、ふ化業者が出荷（自家育すう用を含む。）した初生ひなを、鶏飼養者（育すう業者を含む。）がえ付けした羽数をいう。